

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 27-8
補助事業名 平成27年度 3Dプリンタによる障害のある人の就労支援補助事業
補助事業者名 一般財団法人機械振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

3Dプリンタを活用して障害のある人の就労支援を実施し、先端的なものづくりの現場に活躍の場を創造することによる「生活の質の向上」を目的としています

(2) 実施内容

①3Dプリンタによる障害のある人の就労支援補助事業

http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=130301&rid=1197

我が国の少子高齢化に伴う労働人口の減少と膨らみ続ける福祉予算に歯止めをかけるため、総活躍社会の実現が期待されています。本事業はJKA補助事業として、特に勤労意欲を持っているにも関わらず職種が限定的かつ低賃金であるため未だ十分な社会参加ができていないと考えられる障害のある人に焦点をあて、先端的なものづくりの現場に障害のある人の活躍の場を創造することによる「生活の質の向上」を目指している。

本事業ではこれまで検討・立案してきた障害のある人による3Dプリント出力サービスのビジネスモデル実現に向けて、近隣の自治体や障害者就労支援事業所との連携により、障害のある人およびその指導員らによる実作業の試行を実施しました。さらに、その結果を仕上げた造形物の評価およびアンケート調査により詳細に検証し、持続的な事業化の実現性についての検討を進めました。

2 予想される事業実施効果

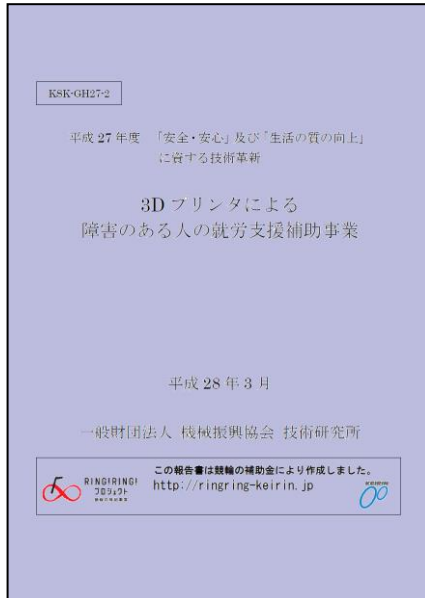
立案したビジネスモデルの実現に向けた試行実験について詳細に検証したところ、持続的な事業化に向けて大変前向きかつ良好な結果が得られました。平成28年度は障害のある人による3Dプリント出力サービスに技術研究所が関わる強みを発揮させるため、従来培ってきた分析・計測技術を駆使し、出力品の強度評価などによる高付加価値化を通じて円滑な事業化に貢献をして参ります。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

3Dプリンタによる障害のある人の就労支援補助事業

(http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=130301&rid=1197)



障害のある人による3Dプリントサービスのビジネスモデル試行	
目次	
1. はじめに	1
参考文献	1
2. これまでの取り組み	2
2.1 専門委員会	2
2.2 関連調査	2
2.3 前編式 3D プリンタによる実習	2
2.4 ビジネスモデルの構築	2
3. 障害のある人による 3D プリントサービスのビジネスモデル試行	3
3.1 試行実験の位置づけ	3
3.2 設備および作業環境整備	3
3.2.1 3D プリンタの選定・購入	3
3.2.2 作業環境の整備	4
3.2.3 保護員・器具の準備	5
3.3 試行実験の実施内容	6
3.3.1 作業工程の概要	6
3.3.2 試行実験の実施条件の設定	9
3.4 試行実験の実施	10
3.4.1 試行実験の実施状況と難しき	11
3.4.2 作業の面白さ	18
3.4.3 作業の汚れ	19
3.4.4 作業の臭い	20
3.4.5 作業の音	21
3.4.6 器具	21
3.4.7 保護員	22
3.4.8 他の工程	23
3.4.9 今後の事業	23
3.5 試行実験全体を通じた評価	24
3.5.1 良かった点、良くなかった点	24
3.5.2 得意な工程・苦手な工程	25
3.5.3 分業化	25
3.5.4 日々の仕事として	26
4. 結論	27
謝辞	27

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人機械振興協会（キカイシンコウキョウカイ）

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

代表者： 会長 庄山悦彦（ショウヤマ エツヒコ）

担当部署： 技術研究所 技術開発センター ものづくり人材育成事業チーム（ギジュツケンキュウジョ ギジュツカイハツセンター モノヅクリジンザイイクセイジギョウチーム）

担当者名： 技術副主幹 藤塚 将行（フジツカ マサユキ）

電話番号： 042-475-1155

F A X : 042-474-1980

E-mail : fujitsuka@tri.jspmi.or.jp

URL : <http://www.jspmi.or.jp/>